

第8回執行委員会①

8月8日（月）12時～ かめや

国労

蘇我運輸区分会ニュース

再び猛威を振るってきたコロナウィルス感染症対策を徹底した開催となりました。

最近の事象から①

京葉線内人立ち入り

今日3日、20時半頃、新浦安〜舞浜間で発生した人立ち入りについて報告がありました。

指令の指示で、上下線が最徐行で進み、挟む形で乗務員が探すというものでしたが、このやり方に問題はないのでしょうか。どのような目的で線路内に入ったのかも分からず、その辺にいと承知の上での列車の運行。最徐行とはいえ、危険極まりないものだと思いますが、どうでしょうか。最近他の

線区でもこのやり方が行なわれたとの報告もあり心配です。

加えて、この区間は施設社員用の退避箇所や、電力関係？の設備が多々あり、運転中の乗務員室から隠れている人を探すのは不可能だという尤もな声がありました。

この「線路外に出た」という判断もこの区間が高架であり、それが可能かどうか、指令員が現場

に出た」という判断で、全列車運転を再開、その後別の列車乗務員によって再度発見されま

したが、結果的には確保することが出来ずに終わったという実にお粗末な事象となりました。

この「線路外に出た」という判断もこの区間が高架であり、それが可能かどうか、指令員が現場

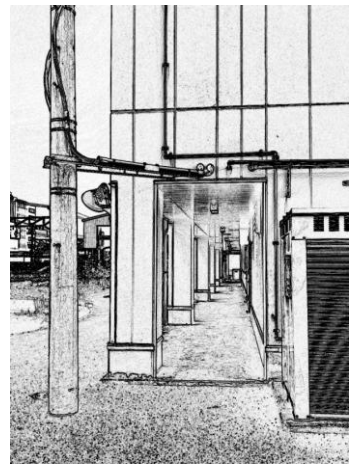
をちゃんと把握していたのか、甚だ疑問に思えます。

今回のこの事象を良い教訓として、もう一度「線路内人立ち入り」の対応を見直すべきです。

一刻を争う人命に関わる場面もあることから、マニュアルを超えた迅速な対応も必要です。

まずは、短時間で当該駅員、近隣の社員、警察等々が集まれる体制も

をちゃんと把握していたのか、甚だ疑問に思えます。



今回のこの事象を良い教訓として、もう一度「線路内人立ち入り」の対応を見直すべきです。

一刻を争う人命に関わる場面もあることから、マニュアルを超えた迅速な対応も必要です。

まずは、短時間で当該駅員、近隣の社員、警察等々が集まれる体制も

この日は、運転再開後の運用に関しても、指令と現場の連携が全く取れず各所で「乗務員がない」騒ぎがあったとの報告もありました。

この日は、運転再開後の運用に関しても、指令と現場の連携が全く取れず各所で「乗務員がない」騒ぎがあったとの報告もありました。

お宝発見！④

ますみコレクション

第750号で「昭和54年ダイ改反対ステッカー」を紹介し、最後に「春闘グッズとか誰か持ってませんか？」と書いたところ、数日後に分会組合員の吉野益己さんより下の写真が送られてきました。いやあ、言ってみるもんですね、大感謝です。その後、現物も預かってます。吉野さんからは、第744号で紹介した「団結ウォッチシール」の提供もありました。

本会議でも「昔、点呼中に国労マークの入ったポケットホルダー（写真右上）を注意され、点検摘発メモに書いた」等々の思い出話に、しばし花が咲きました。

素晴らしき吉野益己コレクション！略して「ますコレ」！3回くらいに分けて紹介していきたいと思えます。ありがとー！



☆ それにしても、上下線の乗務員室から見つける・・・?!本気? どう考えても無理でしょ!・・・お粗末!!